令和５年度　第８回　江南区自治協議会

日時：令和５年 11 月 22 日（水）午後１時半～
会場：江南区役所３階　302 会議室

1.開会

〇渡邊地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和５年度８回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

（資料確認）

〇渡邊地域総務課長補佐

本日の会議について、齋藤委員、加藤委員、間島委員、丸山委員、今井委員、小菅委員、上田委員、樋浦委員、堀川委員から欠席のご報告をいただいております。

2.会長あいさつ

〇渡邊地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、中野会長からご挨拶お願いいたします。

（会長あいさつ）

〇渡邊地域総務課長補佐

次に議題に入りますが、ここからの進行は中野会長にお願いいたします。

3.議題

（1）令和６年度特色ある区づくり予算等について

〇中野会長

それでは、次第に沿って進めていきたいと思います。

ご意見のある場合は、挙手のうえ、簡潔明瞭にお願いいたします。

それでは、地域総務課長よりご説明をお願いいたします。

〇松屋地域総務課長

地域総務課の松屋でございます。本日は、よろしくお願いいたします。

まず、資料 1－1、A3 縦の資料をご覧ください。前回の自治協議会で各部会からいただいたご提案、ご意見を踏まえまして、来年度の事業について検討しました。

左側、事業名の欄に「目指す区のすがた」をカラーで表示し、各事業を 5 本の柱で分類して整理をしています。

資料の 1 ページ目と 2 ページに「特色ある区づくり事業」を、3 ページ目には、区づくり事業以外の「主な事業」として継続する予定の「区長提案事業」と「区関係事業」を参考に掲載しています。

「区づくり事業」につきましては、「区役所企画事業」が 9 事業と「自治協提案事業」が 1 事業で、合計 10 事業を掲載していますが、そのうち、3 番目の「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」については、事業名の下、米印に記載のとおり、令和 6 年度から区づくり事業の外枠に移行する予定となっていることから、全体では 9 事業となる予定です。

本日は、各事業の目的や概要についてご説明させていただき、次回の 12 月の自治協議会で、予算額をお示し、ご意見を伺う予定としています。

次に、資料 1－2 は、各部会からいただきましたご提案、ご意見に対する区の対応方針となります。資料を事前に配付させていただきましたので、こちらの説明につきましては省略させていただきたいと考えています。

それでは、資料 1－1 により、令和 6 年度「区役所企画事業」ナンバー1 からナンバー9 の事業目的と概要につきまして、各所管課長より資料の掲載順に説明いたします。

まず、1 番目、「みんなで語り、考える使いやすい公共交通」です。

目的欄をご覧ください。区バス、住民バスの利用者数は回復傾向にはあるものの、コロナ前の水準には戻っていません。引き続き、利用を促進するための啓発活動を行うなど、より使いやすい公共交通の実現に向けて取組みを行います。

来年度の主な取組みといたしましては、小学生の利用促進に向けた「バス乗車体験学習会」や、高齢者の利用促進に向けたシルバーチケットなどの作

成支援を実施するとしており、新たに区バス利用者の利用目的や年代など、より詳細な属性調査を実施することにより、ニーズの把握に努めまして、今後のダイヤ改正や利用促進への活用を図ります。

また、引き続き、大江山・両川地区における高齢者の助け合い移送支援をコミュニティ協議会などと連携して実施してまいります。

〇藤田建設課長補佐

2 番目の「ビバ．リバー！憩い空間活用事業」について、建設課の落合が急用で欠席しておりまして、代理の課長補佐の藤田です。よろしくお願いします。

こちらの事業は、2 の下に二つ「こあがの川フィッシング大会」と「いい汗いい食江南健幸ライド」というものが以前からやっていたものなのですけれども、それを統合しまして「ビバ．リバー！憩い空間活用事業」という形で一つに事業をまとめました。

事業目的としましては、阿賀野川や小阿賀野川など水辺空間（サイクリングロード・小阿賀野川酒屋広場）を活用し、自然など区の魅力を体験できる機会を創出するというものになります。

来年度の事業概要としましては、「いい汗いい食江南健幸ライド」の開催、従来どおり 9 月の第 2 日曜日ということで 9 月 8 日の日に予定しているところであります。内容は、ロングコースとしまして、約 42 キロを 160 名の募集をします。ショートコースは 16 キロで 60 名の募集を予定しています。今年度まではショートコースは 40 名という形だったのですけれども、自治協議会から区民がなかなか出る機会がないのではないかということで、ショートコースのほうを親子で参加できるような仕組みを作ったりして、区民の方から積極的に参加していただけるような仕組みづくりを今、検討しているところでございます。あとは自転車走行空間の改善ということになります。

二つ目は、「こあがの川フィッシング大会」の開催ということで、同じ日に開催されます。こちらは小阿賀野川の酒屋広場を利用しまして、釣り大会を行うということで、今年度 10 組 20 名を募集したところ 8 組 16 名の参加という状況であります。こちらのほうは今年度同様の予定であります。釣り大会が終わった時間帯に両川コミュニティ協議会主催のカヌーの体験会をやっておりますので、そちらのほうにも親子の方から参加をしていただく形で考えています。

○古泉健康福祉課長

続きまして、健康福祉課です。3 番「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」です。江南区地域福祉計画の基本理念である「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指し、区民、福祉団体、コミュニティ協議会、区社会福祉協議会、区役所等が協働して事業を実施しています。

はじめに、R6 事業概要欄の一つ目の丸「ふれあい・ささえあい交流事業」についてです。今年度は 10 月 15 日の日曜日に開催いたしまして、小雨の降る中、約 1,500 人から参加していただきまして、来場者のアンケートでは多くの方々から、次回も来場したい、楽しかった、毎年開催してほしいという声をいただきました。来年度も引き続き「こうなんふれ愛まつり」を開催し、併せて障がい者アートの展示「ともにアート展」を一体的に開催することで、障がいの有無や年齢を問わず、多世代の人が交流できる場を提供し、地域交流と共生社会の機運醸成を図ります。

次に、二つ目の丸、福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進については、子どもたちの活動等を支援するフェスサポを活用しながら、子どもたちが企画・運営を行うイベントを開催し、居場所の活性化を図ります。

○塚本産業振興課長

産業振興課長の塚本でございます。私のほうから産業振興課の所管する部分についてご説明させていただきます。4 番から 6 番になります。資料をご覧いただきながら聞いていただければと思います。

4 番「江南区まるごとプロモーション」です。今年度より江南区の魅力を一体的にプロモーションするということで、それぞれ別の事業であったものをまとめて令和 5 年度から実施しています。

江南区の魅力である食、文化、歴史、まち歩き、こういったものをトータルして交流人口、関係人口の拡大を目指すものです。

残念ながら今年度実施できなかった「旬果旬菜いきいきフェスタ」につきましては、改めて市場と協議をしつつ、実施に向けて取り組むことにより、梅まつりの開催、まち歩きイベントやバスツアーの実施、農産物の用いた商品開発やＰＲ事業を実施するなど、江南区の魅力の発信に努めていきたいと思います。

また、これらを進めるにあたり、区内の若手経済人や農業者などと懇話会を実施し、それぞれの産業・業種にかかわらず、多様な視点で協働で進める

という形で来年度も進めていきたいと思います。

5 番「地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり」です。今年度より江南区のキラーコンテンツの一つ、亀田縞のブランド力強化を引き続き進めるとともに、単なる亀田縞の振興にとどまらず、これを活かした産業の振興や地域振興における取組みを進める意味で、産地にふさわしい景観づくり、情報紙の発行、総合学習への支援を継続するとともに、異業種や地域コミュニティ協議会などと一緒に連携しながら広く市民から亀田縞のＰＲに寄与するアイデアや企画を募集し、ともに取り組むなど、地域と一体となった事業展開を目指していきたいと考えています。

6 番「地域商業活性化事業」です。今月 3 日に実施いたしました亀田三・九マルシェは、大変多くのお客様を迎え大盛況となりました。来年度におきましては、亀田三・九の市に加えまして、他の地域における地域振興活性化に資する取組みを実施団体と協働で進めていきたいと考えています。

また、現在実施中で江南区料理仕出し組合と合同実施しております「江南区お店元気プラスキャンペーン」も昨年以上の応募と参加店を得ています。これも大変好評いただいております。燃料費の高騰による物価上昇など、依然として消費動向に不透明感がある中、来年度におきましても区内での商業活性化に向けた消費喚起につながる取組みを、この実行委員会で議論しながら進めていきたいと考えています。

〇松屋地域総務課長

次に、7 番目「『江南区をＰＲ』魅力発信プロジェクト」です。首都圏の学生や子育て世代などに向けて、区のＰＲとともに、移住促進を目指した事業を展開していきます。

主な取組みといたしましては、引き続き、区内の事業者と連携し、物品提供などの協力を得て、県外で生活を送っている大学生などに物資等を送付する「ふるさと江南区宅配便」を継続します。

また、明後日の 24 日には横浜市内で県外学生同士の交流会を初めて開催するところですが、来年度はこの実施結果を踏まえまして、Ｕターン就職を目的としたイベントを開催するなど、さらなる展開を図っていきたいと考えています。

さらに、ハーフマラソンなどの大型イベントに合わせて区の特産品のＰＲを行うなど、区と商工団体などで構成される実行委員会において取組みを検

討、実施してまいります。

○塚本産業振興課長

2ページ目の8番「文化芸術の創造・発信」です。ホールの客席が400席ということで、興行的にはなかなか難しいものがございまして、文化会館の自主事業といたしまして、江南区文化会館の開館以来、文化芸術、芸能等を提供するために実施しています。身近な施設で質の高いコンテンツを提供する機会をつくるとともに、来年度は地域に向けたアウトリーチ、いわゆる出張サービスを実施するような形で検討するという形で、江南区の文化芸術のさらなる振興を進めていきたいと考えています。

9番、仮称ですけれども、「江南区歴史・文化の学習支援」でございます。信濃川と阿賀野川の両大河に囲まれた亀田郷と称された地域の歴史は、かつて「地図にない湖」と称されるほど劣悪な状態だったというのは皆さんもご存じだと思います。その後、栗ノ木排水機場の完成や土地改良事業により、今日の江南区があるといっても過言ではございません。これら水との戦いの歴史や農耕の労働文化など、小学校の子どもたちが総合学習におきまして先人の足跡を辿ることで、地元愛や郷土の誇りを醸成するということを目的に、その必要な費用を支援することを考えています。

なお、来月開催される江南区小学校校長会におきまして、校長先生方と意見交換を行い、事業の詳細を定めるという形で進めていきたいと思っています。

その下の「北方文化博物館を活用した文化発信事業」につきましては、今年度をもって終了ということになります。

○松屋地域総務課長

続きまして、資料の3ページをご覧ください。区づくり事業以外の主な事業について、健康福祉課から順に説明をいたします。

○古泉健康福祉課長

健康福祉課です。1番「江南区商・農・福連携推進事業」です。障がい者の就労支援を目的に、区内の商・農業者と障がい福祉事業所とのマッチングの仕組みづくりを構築し、仕事の受注や魅力ある授産品の開発及び販路の拡大により、障がい者の工賃アップのほか、商・農業者の人材不足の解消並びに企業のイメージアップを図る事業です。

事業概要欄の一つ目の丸、区内の商・農業者と障がい福祉事業所とのマッ

チングについては、コーディネーターを配置し、商・農業者に事業の説明を行ったところ、いくつかの仕事について相談を受けており、調整等を行っているところです。

二つ目の丸、授産品の開発につては、本事業についての助言や提言を行う江南区商・農・福連携推進連絡会で助言等をいただいておりますので、助言等をもとに開発を進めていく予定です。

授産品のプロモーションについては、10 月 7 日、8 日に食花マルシェ、その翌週の 15 日にはこうなんふれ愛まつりに出展いたしまして、授産品等の販売と事業の周知を行いました。今週の 25 日の土曜日には江南区文化会館で開催されます、江南区民福祉大会にも出展いたします。こちらについても引き続き商業、農業者と障がい福祉事業所とのマッチング並びに魅力ある授産品の開発等を進め、障がい者の工賃アップを図ってまいります。

〇松屋地域総務課長

2 番目の「江南区安心・安全な地域づくりの推進」です。主な取組みといたしましては、円滑な避難所運営が実施されるよう意識を醸成するとともに、避難所運営委員会の立ち上げに向け、講習会を実施いたします。

また、防災力向上のため、防災訓練の支援や、将来の地域防災の担い手となる中学生に対し、ジュニアレスキュー隊の育成などに取り組むなど、自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成や、地域防災力の強化を図ってまいります。

〇古泉健康福祉課長

次に、3 番「地域で見守り応援事業～見守る目、見守る心～」です。地域の中で、子育てを応援したい人、認知症、高齢者を支援したい人を掘り起こし、地域全体で見守ることで安心して暮らせる地域の実現を目指し、事業を実施しています。

事業概要欄の一つ目の丸、江南区子育て応援団については、引き続き積極的な広報を行い、登録者の増加を図ります。

二つ目の丸、子育て交流会については、子育てを応援したい人と支援してほしい人が交流し、支援を必要とする人が望んでいる支援を受けられるような仕組みづくりを行います。

三つ目の丸、江南区見守り隊メールについては、引き続き積極的な広報を行い、登録者の増加を図ります。

四つ目の丸、江南区見守りシール交付事業については、介護認定を受けた人を対象にチラシの配布により事業の周知を図るとともに、認知症への理解と見守りシールの認知度向上、支援する人を増やす取組みとして、声かけ見守り訓練を実施いたします。

次の 4 番「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」の「区民福祉大会」については、地域福祉を推進するため、地域福祉推進フォーラムや実践報告会などを通じ、区民が地域福祉について考える機会として開催していきます。

○塚本産業振興課長

「横越総合体育館バスケットゴール更新」でございます。こちらにつきましては、今年度事業という形で終了いたしますので、令和 6 年度においては廃止という制度になります。

○松屋地域総務課長

説明は以上となります。

○中野会長

ありがとうございました。このことについて、皆さんのほうからご質問等ありますでしょうか。よろしいですか。

4. 報告

(1) 地域課題解決サポートプロジェクトについて

○中野会長

次に、(1)「地域課題解決サポートプロジェクトについて」、ご報告願います。

上村委員、お願いいたします。

○上村委員

資料 2 をご覧ください。曽野木地区コミュニティ協議会の上村です。今年度も曽野木地区コミュニティ協議会は、地域課題解決サポートプロジェクトを利用しまして、「愛＆絆そのき光のページェント」ということで、昨年度から曽野木コミュニティセンターを拠点としてイルミネーションをやっていたのですけれども、今年度も地域住民の連帯感を高め、住みよい地域づくりの推進に資するためにオープンした曽野木コミュニティセンターを拠点にイベントを引き続き開催いたします。今年で 4 年目となります。

事業計画としましては、来月 12 月 15 日に点灯式を行いまして、3 月 10 日

まで、夕方5時から午後9時まで点灯いたします。点灯式の前段でミニイベントを開催します。お隣の曽野木アルル保育園の園児さんたちの歌唱ですとか、曽野木地区内のオカリナサークルによる演奏などで、皆さん楽しんでいただいて、たくさんの方と一緒にカウントダウンしたいと考えています。

それともう一つ、曽野木コミュニティセンターが開いているときは割りと明るいのですけれども、閉まってしまうと、その前の通りが真っ暗になってしまって、終わってすぐに出た方とか、ちょっと危険もありましたので、曽野木コミュニティセンターの広場のほうにガーデンライトを設置させていただいて、地域の安全にも寄与したいと考えています。

事業効果としては、曽野木地区の新たな冬の風物詩として、さらなる地域の活性化を期待しています。また、広場の照度アップを図ることによって、利用者、また来場者の安全性の向上を図りたいと考えています。

収支予算に関しては、裏をご覧ください。昨年度も同時に巡回アート展がちょうどそのコミュニティセンターに来ていまして、両方楽しんで行かれる方がたくさんいらっしゃいました。皆さんもぜひぜひ。もうちょっと今年度もイルミネーションがパワーアップする予定でおりますので、今日も夜、飾りつけをしてくれる、曽野木もりあげ隊と相談することになっていますので、ぜひいらしていただければと思います。

〇中野会長

ありがとうございました。ぜひお時間ある方は期間を延ばしましたので、3月までご覧いただけますので、お願いします。

では、曽野木のこの取組みを進めていくように、よろしくお願いいたします。

(2) 江南区自治協議会各部会の報告について

〇中野会長

次に(2)に入ります。「各部会の報告について」、ご報告お願いいたします。

まず、まちづくり部会の田村部会長、お願いいたします。

〇田村委員

まちづくり部会です。私のほうから先月の部会の概要を説明させていただきたいと思います。

審議内容等のところを見ていただいて、9 月 22 日にまちづくり部会主催のまち歩きをしましたので、その振り返りと、事務局のマップにつける文章、それぞれの見どころの掲載文書の案と、それから写真等の資料を出していただきましたので、それを見ながら、みんなで意見交換を行ったところです。

主な意見としては、親松排水機場が整備される前は、海抜の低い亀田郷、先ほど塚本課長も言われたとおり「地図にない湖」と喚ばれておりましたので、胸まで泥に浸かりながら、稲を刈るときも膝の上まで水があって、中を泳いでいたということで、そういう中でもハサ木が非常に重要な役割をしていたということですので、その辺を含めた昔の水田風景の写真と合わせて特集で紹介してはどうかというような意見もございました。

それから、昭和 43 年の親松排水機場、その前に戦後まもなく栗ノ木排水機場ができたのですけれども、新潟地震で壊れて、何か月も排水できない状況だったらしいですけれども、親松ができた関係で、完全に湿田から乾田になったということでございます。あとは河川のほうに、この地図は古いですけれども、昭和 47 年に大型ほ場を作って天皇陛下がご覧になったということで、その記念碑があるということで、その辺も紹介してはどうかという意見もございました。

それから、信濃川の堤防から見る角田山、弥彦山の間に沈む夕日が非常に美しいと、両川地区と曽野木地区の方がおっしゃっていましたので、写真がいいものが撮れたかどうかというものがありますけれど、そういう堤防の上に立って見る弥彦、角田が非常に夕日がきれいだということで、そういうものを載せたいということでございました。

今後の進め方につきましては、一応、今日のこれが終わったあとの会議で、曽野木地区に住んでいるデザイナーの信賀さんがマップのラフ案を作っていただいたということなので、それをもとに意見交換をして、正月くらいには少しきれいな形のものを作っていきたいなと思っているところです。

〇中野会長

ありがとうございました。

続いて、安心安全部会の石澤部会長、お願いします。

〇石澤委員

安心安全部会の会議概要を報告いたします。

自治協議会の提案事業のパパママ銭湯について、事務局より事業概要の説

明がありました。今後、運営団体あるいは施設への事業の提案を行い、協力が得られれば具体的な日程と詳細を決定していきます。

また、自治協議会の活動を周知するよい機会であるということから、部会がどのような形で事業の支援を行うかを検討する必要があるという意見がありました。

防災の事業の観点から、パパママ銭湯の際に、子育て世代目線のアンケートを取りたいという意見がありました。実施内容や対象については、引き続き主担当を中心に協議を行っていきます。

〇中野会長

ありがとうございました。

続いて、環境・教育部会の渡邉部会長、お願いします。

〇渡邉委員

よろしくお願いいたします。まずは見た目のとおり虚弱体質、持病の喘息があって、最近、咳を伴い声がかすれていまして、皆さんにお聞き苦しい点もあるかと思いますが、報告させていただきます。

環境・教育部会は、今週 26 日の日曜日に、江南区役所を会場にスポＧＯＭＩ大会を開催いたします。前回の部会では、賞品について決定したほか、当日の事務局体制や役割分担について意見交換をいたしました。

また、皆様からのご協力もあり、お陰さまで 21 チームの参加申し込みがありました。少し天候が心配ではありますが、晴れることを祈りたいと思います。

また、亀田西中学校区コミュニティ協議会様や亀田 57 区自治会様、早通コミュニティ協議会の石澤委員からも当日、事務局としての参加を快くお引き受けいただきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日の部会では、最終打ち合わせを行い、詳細な役割分担を決定する予定です。

〇中野会長

ありがとうございました。

続いて、広報紙発行特別部会の上村部会長、お願いいたします。

〇上村委員

11 月 14 日に開催した第 3 回広報紙発行特別部会についてご報告いたしま

す。

はじめに、来年 1 年 21 日に発行を予定しています江南区自治協議会通信の内容、レイアウトについて意見交換を行いました。紙面は自治協議会の役割や活動に関する内容および「江南区魅力スポット探訪」の二つのテーマを取り扱うこととしました。

役割や活動の紹介については、自治協議会で地域の課題解決に向けて話し合いを重ねていることについて触れることで、区民に自治協議会をより身近に感じてもらえるようにしてはどうかという意見がありました。

「江南区魅力スポット探訪」については、令和 5 年 8 月 6 日号に第 1 弾として掲載していることも踏まえまして、今号でも継続して区内事業者を紹介し、区民にも知られていない江南区の魅力を発信してはどうかという意見がありました。

今後は、委員が選出した江南区の魅力的なスポットの取材を進め、紙面を作成していきます。

また、1 月 9 日火曜日、午前 11 時から第 4 回広報紙発行特別部会を開催し、初校の確認などを行います。

〇中野会長

ありがとうございました。

以上、各部会から報告がありましたけれども、このことについてご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

5. 副市長との意見交換

〇中野会長

では、次第に沿って、5 番の「副市長との意見交換」に入ります。

本日は、朝妻副市長にご出席いただいています。せっかくの機会ですので、委員として感じている地域課題などについて、朝妻副市長と意見交換をしたいと思いますが、ご意見等ある方がいらっしゃいましたら挙手をお願いします。

〇田村委員

亀田商工会議所の田村です。よろしくお願いします。二つございまして、一つ目が、(仮称)江南駅の設置ということでございます。(仮称)江南駅の設置自体につきましては、今年 6 月に都市計画区域の線引き見直しの開発候補

地区になったということで、住宅開発が進められているというのは、まず間違いないのかなと思っているところですけれども、以前からニワトリが先かタマゴが先かということで、駅ができれば住宅ができる、住宅ができれば駅ができるという、ニワトリ、タマゴ論争があったのですけれども、一応、開発候補地区ということでありましたので、今後、駅の設置についてお願いするということでございます。

今現在、朝 7 時台で新津方面から新潟へ向かう電車が 7 本ございます。8 時台で 6 本あるということで、非常に江南区は利便性のいいところですので、この(仮称)江南駅が設置されれば、また非常に多くの賑わいづくりにもなると思いますし、市長の確か選挙の公約にもあったと思いますけれども、(仮称)江南駅の設置について、引き続き積極的なご支援をお願いしたいというものでございます。

それからもう一つ、新潟の強みは食と農ということだと思うのですけれども、新潟市はトップクラスの農業都市でありますし、また、ほかに類を見ない農業基盤を持っているということでございます。また、食品関連産業として亀田製菓、一正蒲鉾、サトウ食品さんなど、非常に食品関連産業も発展しているという地域でございます。国のほうにおいては、2030 年までに世界最先端のバイオコミュニティ社会を目指すということにしておりますし、長岡市さんもバイオコミュニティの認定を国から受けて、発酵文化でしょうかね、そちらのほうに取り組んでいるということですけれども、長岡も頑張っているということですし、食と農の新潟ということでありますので、ぜひ新潟にもバイオエコノミー社会を目指すという取組みについてお願いしたいということでございます。

実際、9 月に 1 回目の食品関係業者さんから集まっていただいて、最初の勉強会だったので、それぞれ方向性は全然違うのですけれども、ただ皆さん集まられた企業の方はやはり食と農で新潟を盛り上げていきたいという思いの強い企業の方ですので、今後一応 12 月にまたもう一回勉強会をしようかなということを考えているところでございますけれども、ぜひともその際に、新潟市さんのほうから指導なり助言なりいただければなと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

まだ方向性や具体性は全然決まっていなくて、話の段階なのですけれども、何か相談の乗っていただければと思いますので、よろしくお願いしたいと思

います。

○朝妻副市長

ありがとうございました。江南駅については、お話のあったとおり、線引きの見直し、候補地として位置づけられましたということですので、今後、具体の計画をいろいろな面からも詰めていくということで、都市計画設計に向けて進めていきたいと思っています。

その必要性については、誰もがというとあれかもしれないのですけれども、納得をしていくことなのだろうと思いますけれども、駅の整備は、都市区画整備事業と一体ということになると、区画整理の問題は建ぺい率の問題とかというところに行き着くわけなので、そういうところで新潟市としての役割というか、その辺を詰めていくということになるのだろうと思います。新駅の設置そのものについては、市としても期待しているということだと思います。

それから、食や農を活かした取組みということで、今年は民間の方々との連携という意味で申し上げると、官民連携パートナーシップデスクというものを立ち上げまして、いわゆる行政でやれることというのは限界があるので、委員の力とプレイヤーの存在というものを力にして、いろいろなプロジェクトを進めていこうということで、具体の動きはもう始まっているということでございまして、もともと官民連携というのは進めてきた分野ではあったのですけれども、より明確に力を入れて進めていこうということになっていますので、ご提案のあった中身につきまして、市としてのご相談等していくというのは、もちろんのことだと思いますので、本庁の事務局でも、いろいろな関係部署が出てくるのだろうと想像しますけれども、協力をさせていただくということになろうかと思います。

前段の大農業都市というところですけれども、今の状況だと、やはり基盤が揺らぎ始めているというか、揺らいでいる部分があろうかと思いますので、生産基盤というものをちゃんとする、それは例えば今年の猛暑の影響というのもみんな農業分野で受けていますので、米だけじゃなくて、果樹もそうだと思うのですけれども、その辺のまず手当てというものが目の前の問題としてあって、あとは担い手ですよね、若い方々に農業をやっていただくにはどうすればいいのか、付加価値をどうやってつけていくのかということだと思うのですけれども、そういう取組みも併せてやりつつ、そういう条件整備の

中で、いろいろな動きが出てくるといいなと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

〇田村委員

どうもありがとうございました。

〇中野会長

ありがとうございました。ほかにご意見のある方はいらっしゃいますか。

〇伊藤委員

3 号委員の伊藤でございます。よろしくお願いいたします。

先ほど冒頭に会長のほうから西堀ローサ地下街の話があったかと思います。中央区にありますから、江南区の人間は関係ないということではないのではないかなと思うのです。まず、第三セクターであったものを解散する、つまり半民半官のものを解散すると。その後、土の中の地面の下の遺産で、そのまま埋もれてしまうということは少し考えづらいのではないかなと私は思っています。

そうするとなれば、まず民間がそれを一つの民間が半民半官ではなく活用する、それはそれでまた民間の考え方、民間の事業所の考え方があって、投資をして何かやるということもあろうかと思います。その民間が仮に手を挙げないという場合は、市がそれをどう考えていくのか、市がどうそれを活用していくのかということになっていくと思います。

その場合、先ほどの話ではないのですけれども、中央区にあるから中央区だけの問題というわけではなく、やはり新潟市の中心部の問題でもありますから、各区の意見も取り入れながらといいますか、そんな形で、もし市がそれを主導して何か考えていくとするならば、各区からも意見を求めるような会議の場を設けるなりして、今後の活用を検討していったらいいのではないかなと私は思いますが、その辺どういうふうにお考えでしょうか。よろしくお願いします。

〇朝妻副市長

ありがとうございます。ローサに関しては、今の構造、土地の下にある地下駐車場、これはもう新潟市の市営駐車場ですし、今の通路の店舗が脇にあるところは、真ん中の通路も市道ですので、市管理の道路という形になっています。今、話題になっているのは、第三セクターであるところの新潟地下開発というところの精算ということなので、そこにはかつて市が 9 億円貸付

けをしたという話がございまして、それの返済をずっと猶予してきたわけですけれども、いつまで経ってもないということなので、一定程度、理由をつけるタイミングが来たということだと思います。

ただ、あの地下街そのものをどうするかということを考えたときに、やはり道路だという部分ももちろんありますけれども、非常に有効な地下空間であることも間違いないので、ただ今日の記事で、全国的に見ると駅とつながっていない地下街というのは極めて珍しいらしいのですけれども、その辺が一つの問題点になったのかもしれないのですが、今後、再開発も進んでいきますので、新たな利用というものが多分見えてくるのだろうなと思います。

同じように店舗が張りつくという形になるのか、どうなのか分かりませんけれども、あれそのものを使わないということは考えられないと言っていますし、今、新潟駅前から古町までの「にいがた 2ｋｍ」という取組みについては、2キロ×8区ということで、8区との連携というものを一つのテーマとしてやっていますので、ご提案のあったローサの今後の活用方法について、中央区だけではない、8 区の皆さんとの意見交換というのは必要なのではないかなと思います。

〇伊藤委員

ありがとうございました。

〇中野会長

ありがとうございました。ほかに、ご意見等ある方はいらっしゃいませんか。

〇田口委員

今日の協議会の中でもあった区づくり予算の中から、防災だったり、子育てに関しては、区でというよりも新潟市全体で同じような水準のサービスだったり、行政支援が必要だよねということで、区づくり予算からは別の枠でこれから運用されるというお話だったと思うのですけれども、区それぞれの持つ力だったり、それぞれが今までやってきた子育て支援だったり防災の支援というものが、どんなふうに集約されていくのかだったり、どういうところに子育て支援について意見というか、要望をお伝えしたら反映されていくのかというのが、ちょっと見えづらくなっているなと感じていて、その辺何かご存じでしたら教えていただけたらと思います。

〇朝妻副市長

区づくり予算の課題というのですか、そういう内容について、昨年度、議論をしたときに、本来であればそれぞれの区で取り組むというのとは、ちょっと性質が違うのではないのかというのが、やはりご指摘のあった防災ですとか福祉の関係、子育てのお話だったりするわけです。結局それが区づくり予算の中に残ってしまうと、全体の枠が決まっている中で、どうしてもそこのところに固定的な経費がどうしても入ってしまうということになるので、そういうものは、じゃあそこから抜いて、空いた隙間のところでもっとほかの特異性のある事業をやってもらったらいいのではないのかというのが議論だったのです。

ただ、抜くというのは、本庁でもってその事業を一括してやるというイメージではまだなくて、それぞれの区の予算、別枠の予算って、常に区づくり事業の枠をいじめないというか、そういう趣旨でやっていたのです。

ただ、おっしゃるとおり、本来どうなのかということになると、合併するときの制度調整のところに話が戻るのですけれども、あのときはやはり福祉や衛生だとか、そういう分野というのは、それぞれの行政ごとではないよねという考え方があって、整理の仕方があって、したがって、それを全市同じ仕組みにしましょうと。広域合併をした瞬間には、もういろいろな制度がそれぞれの市町村であったわけなので、ただそれは基本的には新潟市の制度に統一するというのが基本的な考え方としてスタートしたのです。

ただ、ずっと進んでいくと、そうは言ってもということがあって、区ごとに違うよねということが出てきますし、実は区の中でも違うということもありうるわけですね。だから一つの区の中でも高齢化率が違ったりするので、ここを専用の制度があったっていいのではないのかというような議論も出てきて、あとは予算の枠の制約というものが出てきて、そんなことでこういう変遷を辿ってきたのですけれども、今やっている趣旨というのはもっと独自性のある事業を区役所でやれるように、その隙間を作りましょうと。相応しくないものは、その枠にもう一回出しましょうということでやらせていただいているということなので、それぞれの独自性のある福祉の取組みとかというのは、今までと同じように区役所にご相談いただければいいのではないかなと思います。

〇田口委員

ありがとうございます。

〇中野会長

ありがとうございました。そろそろお時間ですので、最後いらっしゃるようであれば。なければ終了にしますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいですか。

では、朝妻副市長ありがとうございました。委員が感じている地域の課題を持ち帰っていただいて、市政にまた活かしていただければと思いますので、また江南区のほうを温かい目で見ていただければと思います。思いは熱いですので、ヤケドしないようによろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

〇朝妻副市長

ありがとうございました。

6.連絡事項・その他

〇中野会長

では、6 番「連絡事項・その他」に入ります。議題、報告については以上となりますが、全体をとおして何かございますでしょうか。それぞれのコミュニティ協議会のイベントなど、取組み、お知らせがあれば。

〇小野（直）委員

2 号委員の小野でございます。先月も先々月もお話ししておりました、11 月 3 日に新しくできました天野河川防災ステーションで演習をさせていただきまして、そのときに葛飾北斎の朱描鍾馗図をモチーフにして、もしその人が剣でなくて、鋒を持っていたり鳶口を持っていて、その上に消防の半纏を着ていたらという着想をもとに、亀田縞を着ていたらということで、作ったものをお披露目させていただきました。大変ご好評いただきまして、コミュニティ協議会の方には巡回して、各地、防火防災のＰＲ月間のときに、各地域を回ったらどうかというお話をいただいたりしています。また、多分、江南区だよりのデザイン等に載ってくるかなと思いますので、楽しみにしていただければと思います。ありがとうございました。

〇中野会長

ありがとうございます。ほかにありませんか。

〇石井委員

東小学校区コミュニティ協議会の石井です。チラシを配らせていただいた

のですけれども、今、昨日から 26 日、今週の日曜日の午後 1 時までですが文化祭を開催しています。第 8 回になるのですけれども、土日にかかりますので、皆さん亀田小学校の隣の亀田地区コミュニティセンターですので、駐車場もいっぱいありますので、ぜひそちらの文化祭、力作が揃っておりますので、ご覧になっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

〇中野会長

ほかにありませんか。

〇田口委員

公募委員の田口です。チラシを配らせていただいたのですけれども、安心安全部会のほうで 1 月以降、パパママ銭湯を企画していた縁で、パパママ銭湯のチラシを今日配付させていただきました。これは部会の活動とは関係はないのですけれども、田舟の里の指定管理者のきらめきさんと、パパママ銭湯の活動をしているＮＰＯはぐハグの共催で、12 月 4 日の休館日を利用しまして、親子で温泉を楽しむ、田舟の里を楽しむ一日というイベントを企画しています。12 月 4 日の月曜日です。広報の期間が短くて大変恐縮なのですけれども、地域の江南区の子育て世代の方にぜひ利用していただいて、田舟の里を知っていただいて、今後の自治協議会の部会事業で、パパママ銭湯を開催する際にもご利用していただけたらなと思っています。

コミセンなどで、もし配布が可能でしたら、お声がけいただければチラシを持っていますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

〇中野会長

ありがとうございます。それぞれのコミュニティ協議会から選出されている方、地元のコミセン、公民館などで必要ということであればお願いしたいと思います。

ほかにありませんか。よろしいでしょうか。

では連絡事項・その他に入ります。事務局からお願いいたします。

〇渡邊地域総務課長補佐

事務局より連絡させていただきます。はじめに、産業振興課より連絡です。

〇塚本産業振興課長

産業振興課の塚本です。先ほど区づくり事業についてのお話にもありましたけれども、江南区民限定の北方文化博物館入館無料ウィーク、今年で 3 年目でございますが、11 月 23 日、明日から 12 月 3 日まで開催という形になり

ます。今年度で無料で行けるのは最後の年ということで、天候につきましてはどうやら明日と 26 日が傘マークがついておりませんでしたので、まさに明日行っていただければ非常にいい体験ができると思っています。

こういった機会に併せまして、芸術を楽しむ、伝統芸能を楽しむ、食を楽しむと。また非公開エリアの特別案内等もございますので、江南区民であれば一度は行かなければいけない北方文化博物館にぜひ自治協議会委員の皆様から足を運んでいただきたいと考えて、ご案内させていただきました。どうぞよろしくお願いします。

〇渡邉地域総務課長補佐

次に、部会の開催についてご連絡です。このあと本会議終了後に第 8 回目の部会を開催いたします。まちづくり部会は入札室、環境・教育部会は 301 会議室、安心安全部会はここの会場でお願いいたします。

お手数ですが、移動の際は自分の名立てを持ちまして移動をお願いします。

7. 閉会

〇石井委員

本日予定されていました議事は、これで終了いたしましたので、閉会いたします。

次回、令和 5 年度第 9 回目の自治協議会は、12 月 25 日、月曜日の午後 1 時 30 分からの開催となります。通常の開催する曜日と異なりますのでご注意ください。

会場は、江南区役所 3 階 302 会議室となります。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。